

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年4月24日（水）

2 確認箇所

- ・海底再被覆工事現場（1－4号機取水路開渠、メガフロート）
- ・東波除堤魚類移動防止網
- ・1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網
- ・ALPS処理水希釈放出設備

3 確認項目

- （1）港湾魚類対策の状況
- （2）停電により放出を一時停止したALPS処理水希釈放出設備の状況

4 確認結果の概要

（1）港湾魚類対策の状況

東京電力は、港湾内でセシウム濃度の高い魚類が確認されていることから、港湾の環境改善を目的に1－4号機取水路開渠の海底再被覆工事を進めている。

今回は、令和6年2月19日から開始された2層目の被覆施工の状況を確認した。なお、海底再被覆工事は、海底にあるセシウム濃度が高い堆積層の上に2層構造の被覆を施工する計画であり、1層目の被覆施工が令和6年1月25日に完了している。

併せて、セシウム濃度の高い魚類の港湾外への移動防止を目的に設置した東波除堤魚類移動防止網（令和6年3月4日設置完了）及び1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網（令和5年9月1日設置完了）を確認した。（図1）（前回確認：[令和6年3月12日](#)）

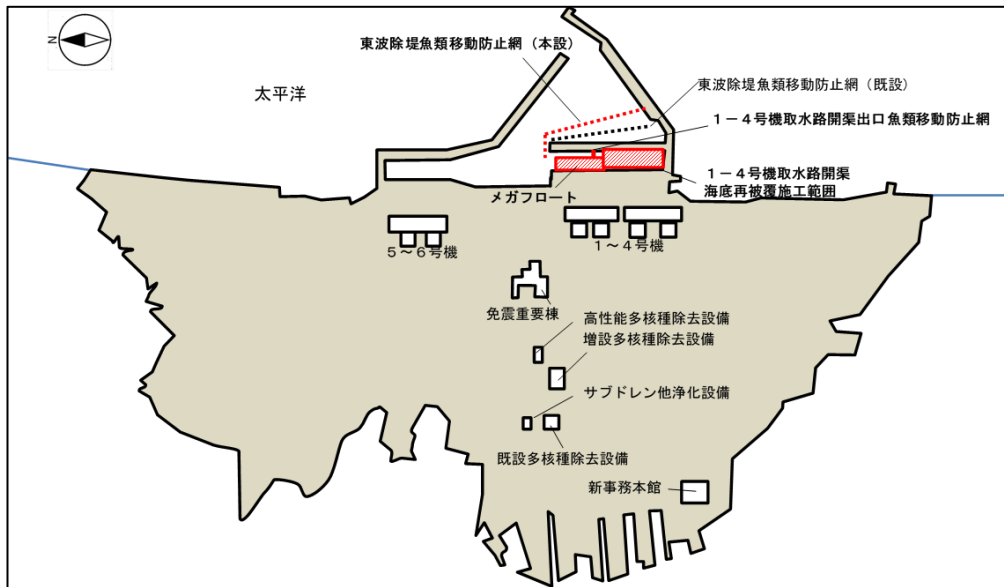
ア 1－4号機取水路開渠の海底再被覆工事の状況

- ・2層目の被覆施工がユニフロート台船を使って実施されていた。（写真1）
- ・被覆施工に使用する被覆材（ベントナイトスラリー＋セメント）を調製して圧送するためのプラントが稼働していた。（写真2）
- ・東京電力によると、令和6年上期中の工事完了を目指しているとのことであった。

イ 東波除堤魚類移動防止網及び1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網の状況

- ・東波除堤魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（杭、網の破損等）は認められなかった。（写真3）

- ・ 1 - 4 号機取水路開渠出口に設置された魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（破損等）は認められなかった。（写真 4）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図 (その 1)



(写真 1)
ユニフロート台船を使った施工状況



(写真 2 - 1)
被覆材調製プラントの概観



ベントナイト混合設備

(写真 2 - 2)
被覆材調製プラントの状況①



ベントナイトスラリー
(ベントナイトと海水の混合物)

(写真 2 - 3)
被覆材調製プラントの状況②



セメント混合設備

(写真 2 - 4)
被覆材調製プラントの状況③



鋼管杭

高耐久網

(写真 3)
東波除堤魚類移動防止網の設置状況



(写真4)

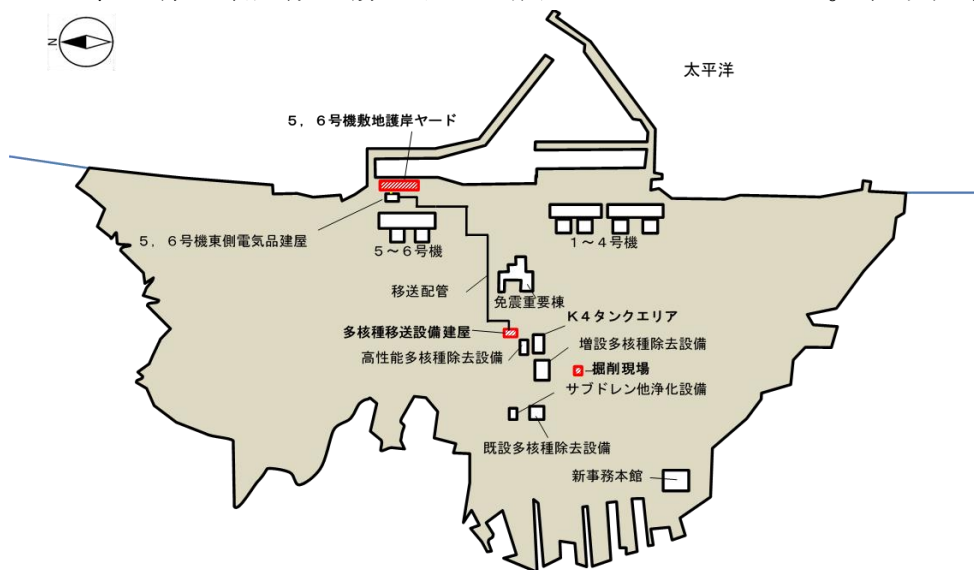
1 - 4号機取水開渠出口魚類移動防止網の状況

(2) 停電により放出を一時停止したALPS処理水希釈放出設備の状況

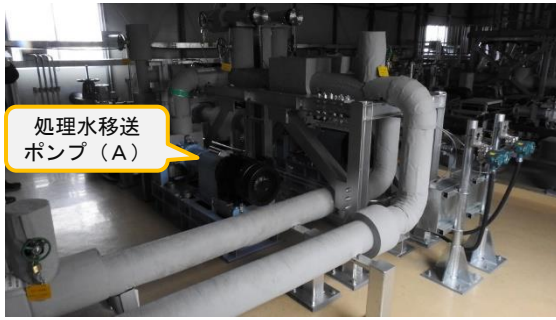
10時43分頃に一部の所内電源が停電し、それに伴いALPS処理水希釈放出設備の運転が自動停止したとの連絡が東京電力よりあったことからALPS処理水希釈放出設備の状況を確認した。(図2)

- ・11時頃にALPS処理水移送ポンプ及びALPS処理水移送配管を確認したところ、A系、B系ともに停止していた。確認した範囲では、漏えい等の異常は認められなかった。(写真5)
- ・11時30分頃に海水移送ポンプ及び海水移送配管を確認したところ、B系とC系が稼働していた。確認した範囲では、漏えい等の異常は認められなかった。(写真6)
- ・東京電力によると、放出を停止したが、放出設備自体に異常は確認されなかったとのこと。また、停電していた一部の所内電源が復旧したことから、17時16分に放出を再開したとのこと。

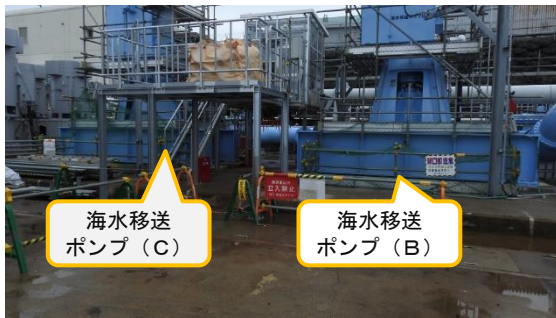
また、大型機器点検建屋西側屋外で作業員が掘削作業中にやけどを負った事象が停電と同時刻に発生しており、停電との因果関係は確認中であるが、電線を掘削機で傷つけたと推定しているとのこと。(写真7)



(図2) 福島第一原子力発電所構内概略図 (その2)



(写真5)
処理水移送ポンプの状況
※停電に伴い建屋内の照明が消灯していた



(写真6)
海水移送配管の状況



(写真7)
掘削現場の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。